

学校スローガン

「自分で考え 決めて チャレンジ! みんなでつくる 明日の緑小!」



緑小だより

令和7年5月30日(金)発行 NO. 8

留萌市立緑丘小学校



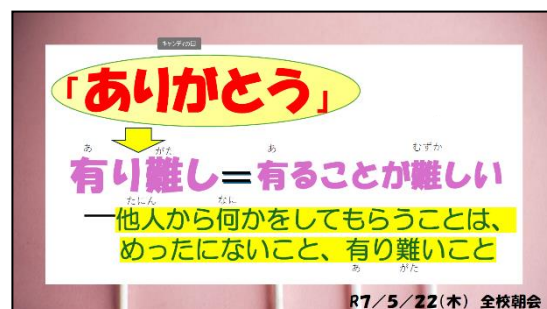
「ありがとう」の大切さ

校長 西 條 直 志

昨年よりも少し遅咲きとなった校舎入り口周辺の美しい桜が散り、日ごとに暖かい日も増え、爽やかな初夏の到来を感じる時期となりました。今年度も早2か月、校舎の中で、グラウンドでと、子どもたちの元気な声が響いています。

5月22日(木)の全校朝会では、「ありがとうの大切さ」のお話をしました。「どんなときにありがとうを使いますか?」ときいたところ、「何かをしてもらったとき」など、何人かの子が発表してくれました。ありがとうの語源は「有り難し」、つまり「有ることが難しい」ということで、他人から何かをしてもらうことは、実はめったにないことなんだよと説明しました。次に「では、反対の意味

の言葉は何でしょう?」ときくと、なかなか難しかったようでしばらく答えが出ませんでした。高学年の子が「当たり前?」と発言してくれました。「この世で最も不幸な人は、感謝の心のない人である」といった言葉も紹介しました。最後に、〇〇〇〇〇の作者である〇〇〇〇〇氏が、読者から「どのキャラクターも『ありがとう』という言葉を使っています」との指摘に対して、「照れて言葉を変えそうなキャラクターでも、カッコつけて言葉をにごす様な奴は、逆にカッコ悪い。セリフの流れとして変にならない限り、一番ストレートな『ありがとう』と言ってもらう事にしています」などと、『ありがとう』という言葉にこだわっているエピソードも紹介しました。「ありがとう」の言葉は、良好な友達関係の潤滑油ともなるキーワードだと思います。これからも人に何かをしてもらったときには、きちんと「ありがとう」と素直に言える緑っ子であってほしいですね。



いよいよ来週末の6月7日(土)は、本校の運動会です。今年も昨年に引き続き「子どもが主語の運動会」を目指し、学年の発達段階に応じて、種目の内容やルール、作戦などに、子どもたちの意見を取り入れる場面

を増やししながら、一人一人が当事者意識をもって取り組める学校行事、運動の得意な子も苦手な子もみんなが楽しめる、活躍できる学校行事となるよう、教職員は日々指導に励んでいます。練習の段階では、なかなかスムーズにいかない場面も出てくるかもしれませんが、大事な学びの場、成長の場ととらえて、適切に支援をしていきたいと思います。日々の練習で、身体的にも疲れが出てくることも予想されますので、ご家庭ではゆとりと休養をとらせていただければと思います。当日は澄み切った青空の下、緑っ子たちの元気な姿がグラウンドいっぱいに広がりますように!今年も多くの保護者や地域の皆様方のご来場と温かいご声援をどうぞよろしくお願いいたします!

☆避難訓練(火災)☆

今回は子どもたちへの予告をし、学級で事前指導した上で訓練に臨みました。「お・か・し・も」(押さない・駆けない・しゃべらない・戻らない)をしっかりと守り、口にハンカチを当て、低い姿勢で避難することができました。

最後には、留萌消防署のご協力により、煙が充満した視界の悪い教室を歩く体験をしました。子どもたちは、火災の恐ろしさを改めて思い知らされた様子でした。



☆盲導犬教室(4年)☆

緑っ子タイム「点字ってなあに」の学習の一環として、「盲導犬教室」が開かれました。当日は、札幌から盲導犬「ワフ」がやってきて、子どもたちは一緒に歩いたり、ふれ合ったりするなど様々な体験から多くの学びを得た様子でした。

北海道盲導犬協会、留萌みなとライオンズクラブの皆様のご協力に感謝いたします。



☆寄贈していただきました!

- ・雑巾(約30枚)・・・〇〇さん(図書ボランティア)
 - ・ひまわりの苗・・・□□さん(緑丘小PTA)
- 教育活動に有効に使わせていただきます!

ありがとうございます
ございました

☆学校への協力に感謝!

- ①畑の土おこしをお願いしたところ、緑ヶ丘町の〇〇〇さんが花壇(3か所)の土おこしを行ってくださいました。
- ②留萌高校の生徒・教員の方々に運動会のグラウンド設計作業を行っていただきました。